

資料

首都圏整備に関する各種データ

1	人口の状況	130
1-1	首都圏各地域の人口と人口増加率の推移	
1-2	総人口に占める年齢層別人口の割合	
1-3	65歳以上単身世帯の状況	
1-4	業務核都市における人口の状況	
1-5	業務核都市における事業所数（民間）の状況	
1-6	業務核都市における従業員数（民間）の状況	
2	活力創出に資する機能の状況	133
2-1	事務所・店舗等床面積の推移	
2-2	事務所着工床面積の推移	
2-3	製造業の対全国シェアの推移	
2-4	ソフト系IT産業の市町村別事業所数	
2-5	各都県における主要農業部門のシェア等（平成13年）	
2-6	大学・短期大学・大学院学生数の対全国シェアの推移	
2-7	社会人特別選抜による大学学部及び大学院への入学者	
3	環境との共生	136
3-1	二酸化窒素の環境基準達成状況	
3-2	都市公園開園面積の推移	
3-3	緑地保全関連制度の指定状況	
3-4	首都圏における産業廃棄物の排出量及び全国のリサイクル率の推移	
3-5	首都圏における一般廃棄物の処理方法別の排出量及びリサイクル率の推移	
3-6	首都圏における一般廃棄物最終処分場の残余年数の推移	
4	安全で快適な居住空間の整備	138
4-1	東京圏の新設住宅着工戸数の推移	
4-2	都心3区の新設住宅着工戸数及びシェア	
4-3	最低居住水準未満世帯の割合	
5	将来に引き継ぐ社会資本の整備	139
5-1	東京圏主要都市の道路における混雑時平均旅行速度	
5-2	東京圏主要鉄道路線における混雑時の平均混雑率等の推移	
5-3	首都圏と全国の貿易額の推移	
5-4	新東京国際空港の輸出入貨物の背後圏	
5-5	首都圏における外貿コンテナ取扱貨物量と三大湾のシェア	
5-6	首都圏における各種電話の発信量	
5-7	東京湾岸地域の埋立の変遷	

1 人口の状況

●1-1 首都圏各地域の人口と人口増加率の推移

(単位：千人、%)

	昭和60年	60～2年 増加率	平成2年	2～7年 増加率	平成7年	7～12年 増加率	平成12年
首都圏	37,618	4.7	39,396	2.6	40,402	2.3	41,322
近隣3県	18,444	8.1	19,941	4.3	20,803	2.6	21,354
多摩地域	3,475	6.3	3,692	3.1	3,806	3.2	3,929
周辺4県	7,345	3.5	7,600	3.0	7,825	1.0	7,904
東京都区部	8,355	-2.3	8,164	-2.4	7,968	2.1	8,135
都心3区	325	-18.2	266	-8.4	244	10.0	268
全国	121,049	2.1	123,611	1.6	125,570	1.1	126,926

資料：「国勢調査」(総務省統計局)により国土交通省国土計画局作成

●1-2 総人口に占める年齢層別人口の割合

(単位：%)

		昭和55年 1980	昭和60年 1985	平成2年 1990	平成7年 1995	平成12年 2000
0～14歳人口	全 国	23.5	21.5	18.2	15.9	14.6
	東京都	20.6	18.0	14.6	12.7	11.8
	近隣3県	25.7	22.6	18.1	15.6	14.3
	周辺4県	24.1	22.5	19.3	16.9	15.3
15～64歳人口	全 国	67.3	68.2	69.5	69.4	67.9
	東京都	71.5	73.0	74.1	73.9	72.0
	近隣3県	67.8	69.9	72.9	73.5	72.0
	周辺4県	66.2	66.7	68.0	68.1	67.1
65歳以上人口	全 国	9.1	10.3	12.0	14.5	17.3
	東京都	7.7	8.9	10.5	13.0	15.8
	近隣3県	6.5	7.5	8.8	10.8	13.6
	周辺4県	9.7	10.9	12.6	15.0	17.5

資料：「国勢調査」(総務省統計局)により国土交通省国土計画局作成

●1-3 65歳以上単身世帯の状況

		昭和55年 1980	昭和60年 1985	平成2年 1990	平成7年 1995	平成12年 2000
65歳以上 単身世帯数 (単位：千世帯)	全 国	881	1,181	1,623	2,202	3,032
	東京都	101	134	187	265	388
	近隣3県	71	102	157	234	362
	周辺4県	37	50	70	95	131
一般世帯総数 に占める割合 (単位：%)	全 国	2.5	3.1	4.0	5.0	6.5
	東京都	2.4	3.0	4.0	5.3	7.2
	近隣3県	1.4	1.8	2.4	3.2	4.6
	周辺4県	1.9	2.4	3.1	3.8	4.9
65歳以上人口 に占める割合 (単位：%)	全 国	8.3	9.5	10.9	12.1	13.8
	東京都	11.3	12.7	15.1	17.3	20.3
	近隣3県	6.4	7.4	9.0	10.4	12.5
	周辺4県	5.4	6.3	7.3	8.1	9.5

資料：「国勢調査」(総務省統計局)により国土交通省国土計画局作成

●1-4 業務核都市における人口の状況

単位：人 昭和45年を100とした場合の指数

	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成7年	平成12年
全国	104,665,171	111,939,643	117,060,396	121,048,923	123,611,167	125,570,246	126,925,843	120	121
首都圏	30,257,924	33,621,520	35,701,559	37,618,340	39,396,483	40,402,054	41,321,883	134	137
東京都区部	8,840,942	8,646,520	8,351,893	8,354,615	8,163,573	7,967,614	8,134,688	90	92
業務核都市計	6,231,593	7,547,135	8,333,833	9,030,853	9,790,750	10,205,700	10,612,196	164	170
横浜市	2,238,264	2,621,771	2,773,674	2,992,926	3,220,331	3,307,136	3,426,651	148	153
川崎市	973,486	1,014,951	1,040,802	1,088,624	1,173,603	1,202,820	1,249,905	124	128
町田市	202,801	255,305	295,405	321,188	349,050	360,525	377,494	178	186
相模原市	278,326	377,398	439,300	482,778	531,542	570,597	605,561	205	218
厚木市	82,888	108,955	145,392	175,600	197,283	208,627	217,369	252	262
八王子市	253,527	322,580	387,178	426,654	466,347	503,363	536,046	199	211
立川市	117,057	138,129	142,675	146,523	152,824	157,884	164,709	135	141
多摩市注 ¹	30,370	65,466	95,248	122,135	144,489	148,113	145,862	488	480
青梅市	70,954	86,152	98,990	110,828	125,960	137,234	141,394	193	199
川越市	171,038	225,465	259,314	285,437	304,854	323,353	330,766	189	193
熊谷市	120,841	131,485	136,806	143,496	152,124	156,429	156,216	129	129
浦和市	269,397	331,145	358,185	377,235	418,271	453,300	484,845	168	180
大宮市	268,777	327,698	354,084	373,022	403,776	433,755	456,271	161	170
春日部市	84,919	121,639	155,555	171,890	188,823	200,121	203,375	236	239
越谷市	139,368	195,917	223,241	253,479	285,259	298,253	308,307	214	221
柏市	150,635	203,065	239,198	273,128	305,058	317,750	327,851	211	218
土浦市	89,958	104,028	112,517	120,175	127,471	132,243	134,702	147	150
つくば市注 ²	71,649	81,201	110,546	127,497	143,396	156,012	165,978	218	232
牛久市	19,372	27,674	40,164	51,926	60,693	66,338	73,258	342	378
成田市	42,514	50,915	68,418	77,181	86,708	91,470	95,704	215	225
千葉市	482,133	659,356	746,430	788,930	829,455	856,878	887,164	178	184
木更津市	73,319	96,840	110,711	120,201	123,433	123,499	122,768	168	167

資料：「国勢調査」（総務省統計局）により国土交通省国土計画局作成

●1-5 業務核都市における事業所数（民営）の状況

単位：事業所 昭和56年を100とした場合の指数

	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成6年	平成8年	平成11年	平成13年	平成11年	平成13年
全国	6,290,703	6,511,741	6,559,377	6,550,245	6,521,837	6,203,249	6,138,879	99	98
首都圏	1,842,741	1,932,041	1,960,650	1,966,943	1,970,027	1,870,648	1,860,928	102	101
東京都区部	656,769	657,499	634,114	629,367	620,959	580,531	577,545	88	88
業務核都市計	332,801	361,567	382,755	387,383	393,672	374,949	373,181	113	112
横浜市	110,683	116,200	120,861	121,092	123,040	115,100	114,563	104	104
川崎市	42,162	44,124	46,275	46,691	45,942	43,255	42,023	103	100
町田市	8,904	9,491	10,055	10,434	11,850	11,374	11,679	128	131
相模原市	16,951	19,344	21,285	21,712	21,504	22,805	22,020	135	130
厚木市	7,042	8,693	9,858	10,452	10,539	10,347	10,120	147	144
八王子市	14,489	15,667	16,580	16,947	19,205	18,281	18,620	126	129
立川市	7,543	7,834	7,564	7,352	7,410	7,045	7,345	93	97
多摩市	1,695	2,178	2,926	3,126	3,408	3,382	3,640	200	215
青梅市	4,301	4,723	4,946	5,005	5,187	4,872	5,074	113	118
川越市	10,079	11,107	11,560	11,599	11,398	10,914	11,094	108	110
熊谷市	7,584	7,856	7,866	7,920	8,108	7,755	7,715	102	102
さいたま市注 ³	31,086	34,445	37,006	37,804	38,451	36,548	36,432	118	117
春日部市	5,604	7,174	7,521	7,624	7,703	7,374	7,347	132	131
越谷市	7,678	10,323	11,828	11,974	12,614	11,940	11,269	156	147
柏市	8,205	9,197	10,412	10,495	10,422	10,027	9,704	122	118
土浦市	6,884	7,380	7,461	7,410	7,481	6,950	6,786	101	99
つくば市注 ²	4,566	5,479	5,718	5,897	6,652	6,446	6,470	141	142
牛久市	1,189	1,374	1,574	1,830	2,114	2,178	2,380	183	200
成田市	3,340	3,695	3,980	4,159	4,256	4,018	4,308	120	129
千葉市	27,305	29,442	31,690	31,980	30,834	29,157	29,290	107	107
木更津市	5,511	5,841	5,789	5,880	5,554	5,181	5,302	94	96

資料：「事業所・企業統計調査」（総務省統計局）により国土交通省国土計画局作成

●1-6 業務核都市における従業員数（民営）の状況

単位：人 昭和56年を100とした場合の指数

	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成6年	平成8年	平成11年	平成13年	平成11年	平成13年
全国	45,961,266	49,224,514	55,013,776	54,366,015	57,583,042	53,806,580	54,912,703	117	119
首都圏	14,783,621	16,358,753	18,663,626	18,318,707	19,505,813	18,079,172	18,798,365	122	127
東京都区部	5,983,740	6,312,581	6,964,640	6,570,661	7,040,196	6,319,406	6,711,510	106	112
業務核都市計	2,785,374	3,223,049	3,839,953	3,883,257	4,133,330	3,896,057	4,015,390	140	144
横浜市	938,994	1,044,236	1,216,309	1,218,582	1,289,372	1,215,524	1,246,714	129	133
川崎市	414,872	454,355	505,168	499,269	504,118	468,140	464,655	113	112
町田市	65,884	81,574	96,141	99,163	113,130	105,943	115,549	161	175
相模原市	137,688	166,445	202,624	208,160	212,270	213,844	215,198	155	156
厚木市	73,692	102,936	133,342	139,141	145,871	135,096	135,712	183	184
八王子市	115,638	139,029	169,547	169,281	198,951	187,974	197,074	163	170
立川市	60,279	71,352	84,637	81,033	82,015	79,440	88,823	132	147
多摩市	15,018	21,693	40,279	44,867	48,178	51,300	52,582	342	350
青梅市	33,437	40,015	49,644	47,313	51,182	49,637	52,929	148	158
川越市	79,053	97,384	113,763	113,716	120,699	111,962	120,838	142	153
熊谷市	54,425	61,902	69,103	67,361	73,007	69,109	70,100	127	129
さいたま市 ^{注3}	248,841	286,576	344,726	356,324	392,867	366,111	374,556	147	151
春日部市	34,299	45,222	54,600	55,392	59,505	55,306	55,932	161	163
越谷市	48,363	69,028	89,152	90,121	98,235	92,824	92,360	192	191
柏市	64,815	77,299	98,149	101,025	105,082	100,574	104,218	155	161
土浦市	53,098	59,560	68,539	66,555	72,250	66,393	68,047	125	128
つくば市 ^{注2}	25,893	38,492	50,516	54,062	65,699	64,460	67,767	249	262
牛久市	7,280	9,285	13,351	15,084	17,283	17,871	19,973	245	274
成田市	42,342	48,928	65,388	66,606	73,423	71,330	78,154	168	185
千葉市	236,162	266,306	327,908	347,328	364,175	332,173	350,984	141	149
木更津市	35,301	41,432	47,067	42,874	46,018	41,046	43,225	116	122

注1：昭和45年の多摩市の人口は多摩町の数字である。

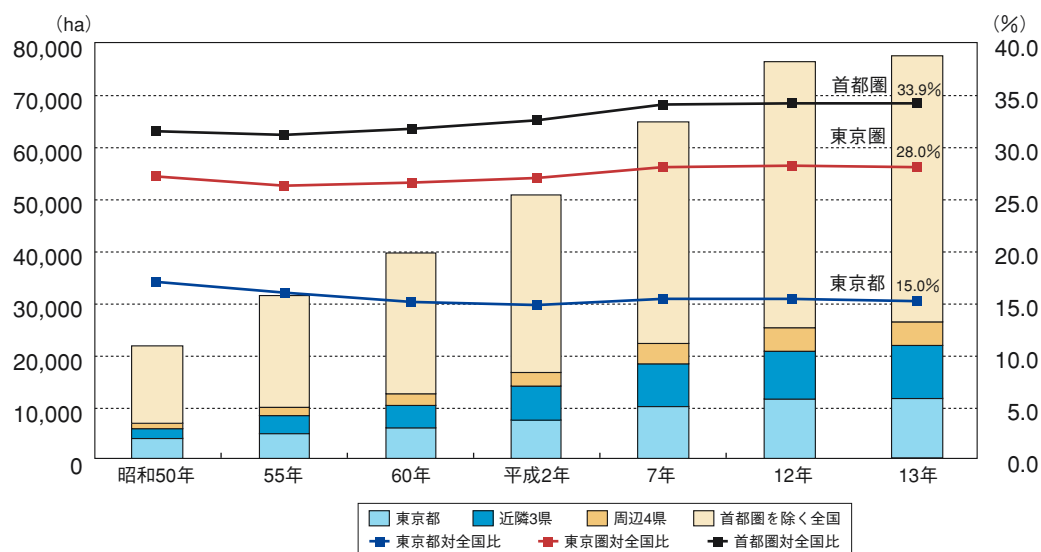
注2：昭和61年以前のつくば市の人口等は、桜町、谷田部町、豊里町、大穂町及び筑波町の総計である。

注3：平成12年以前のさいたま市の事業所数及び従業者数は、浦和市、大宮市及び与野市の総計である。

資料：「事業所・企業統計調査」（総務省統計局）により国土交通省国土計画局作成

2 活力創出に資する機能の状況

●2-1 事務所・店舗等床面積の推移

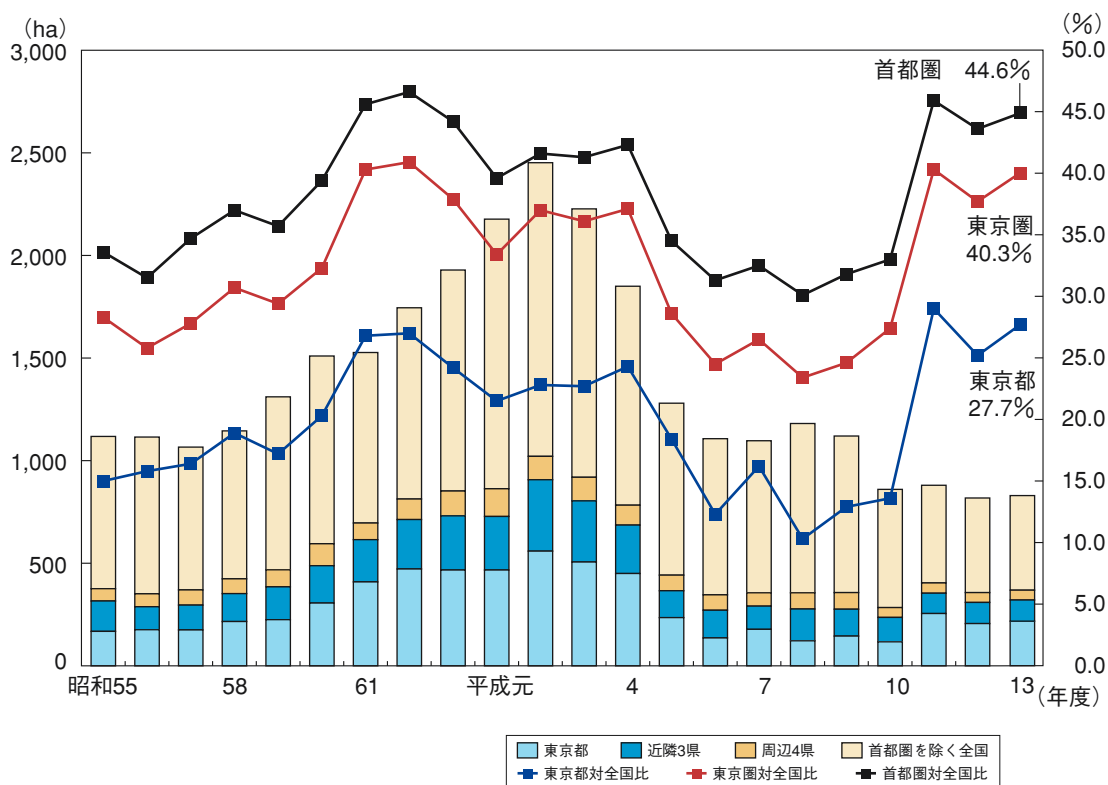


注1：事務所・店舗等とは、木造の事務所・銀行及び店舗並びに非木造の事務所・店舗・百貨店及び銀行を指す。

注2：折れ線グラフは、それぞれ対全国比を表す。

資料：「固定資産の価格等の概要調査」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

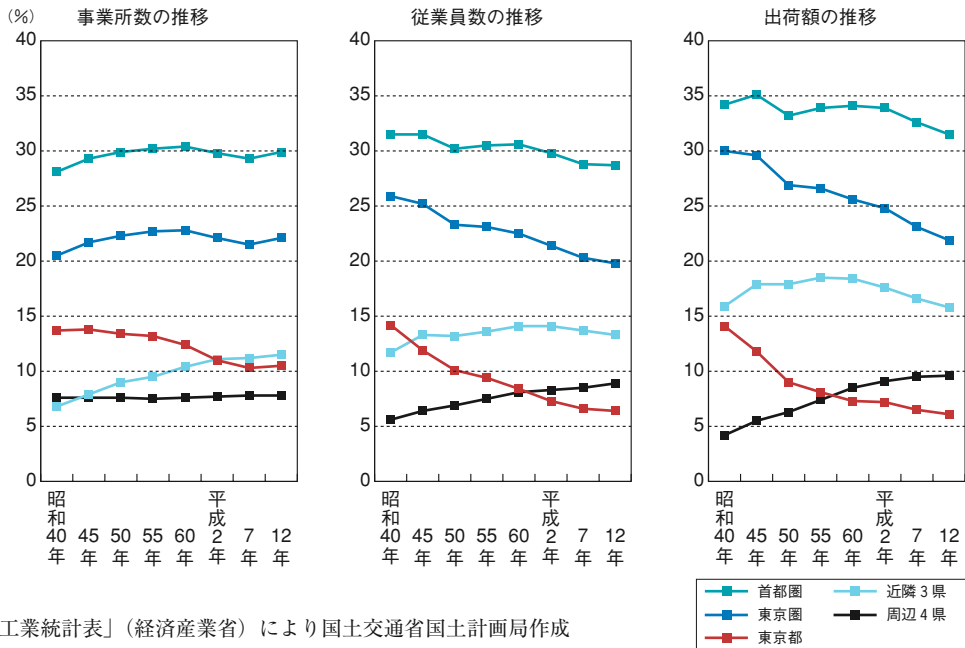
●2-2 事務所着工床面積の推移



注：折れ線グラフは、それぞれ対全国比を表す。

資料：「建築統計年報」（国土交通省総合政策局）により国土交通省国土計画局作成

●2-3 製造業の対全国シェアの推移



●2-4 ソフト系IT産業の市町村別事業所数

	平成14年9月	平成13年9月	平成12年9月	平成11年9月
茨城県	578	567	536	514
水戸市	115	107	107	109
日立市	98	98	93	91
つくば市	85	87	78	76
ひたちなか市	62	60	54	50
土浦市	44	49	53	51
栃木県	319	308	276	264
宇都宮市	169	155	141	135
群馬県	467	477	465	384
前橋市	137	139	139	114
高崎市	133	133	133	114
太田市	46	52	50	43
埼玉県	902	906	886	795
さいたま市	262	263	242	218
浦和市	—	—	123	113
大宮市	—	—	119	105
与野市	—	—	15	16
川越市	56	60	55	48
川口市	56	57	62	46
千葉県	818	848	831	711
千葉市	192	199	192	160
船橋市	82	83	80	75
市川市	79	75	76	58
柏市	72	72	75	67
松戸市	60	69	68	60
東京都	10,993	10,870	10,266	9,263
23区	9,938	9,845	9,275	8,337
八王子市	153	149	144	140
府中市	107	112	108	102
立川市	114	105	102	94
町田市	101	91	91	84
武蔵野市	85	87	91	82
三鷹市	57	60	55	53
多摩市	66	60	53	43
神奈川県	2,146	2,176	2,088	1,914
横浜市	1,123	1,151	1,106	1,044
川崎市	389	387	382	347
相模原市	114	116	116	112
藤沢市	76	78	74	66
厚木市	70	76	69	54
山梨県	176	165	165	163
甲府市	94	86	83	78
首都圏計	16,399	16,317	15,513	14,008
全国計	36,106	35,769	33,778	29,717

注1：さいたま市の平成12年9月、平成11年9月は浦和市・大宮市・与野市を合計したものの。

注2：ソフト系IT産業はタウンページの業種分類において以下の3業種
ソフトウェア業・情報処理サービス・インターネット関連サービス

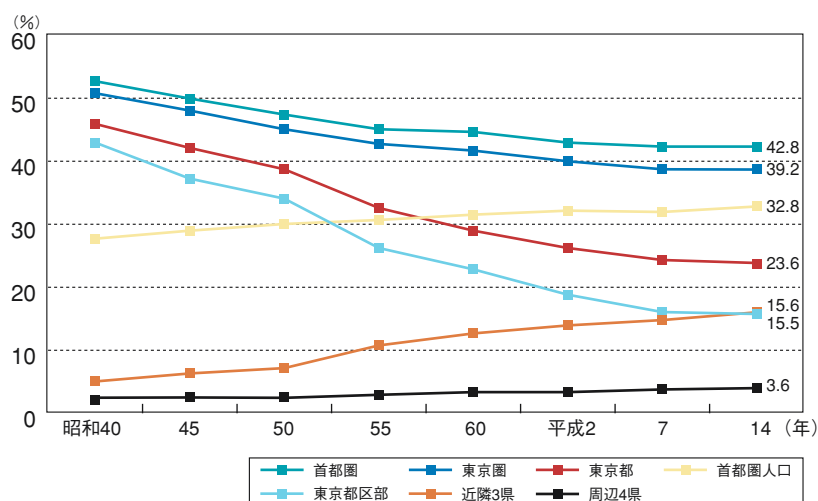
資料：NTTタウンページデータにより国土交通省国土計画局作成

●2-5 各都県における主要農業部門のシェア等（平成13年）

	農業産出額 (億円)	全国順位	農業産出額部門別シェア (%)						耕地面積 (千ha)
			1位		2位		3位		
全国	89,742		畜産	28.0	米	24.9	野菜	23.1	4,794
首都圏	17,003		野菜	35.5	畜産	25.2	米	20.3	678
千葉県	4,246	2	野菜	40.4	畜産	22.8	米	18.9	137
茨城県	3,976	4	野菜	35.8	米	24.8	畜産	24.4	181
栃木県	2,638	10	米	33.5	畜産	30.5	野菜	23.6	132
群馬県	2,263	17	畜産	38.6	野菜	37.3	米	9.6	83
埼玉県	1,979	20	野菜	41.7	米	22.9	畜産	17.3	87
山梨県	859	34	果実	59.1	野菜	12.9	畜産	10.3	27
神奈川県	743	38	野菜	44.4	畜産	28.6	果実	9.8	22
東京都	299	47	野菜	53.7	花き	20.6	畜産	10.0	9

資料：「生産農業所得統計」、「耕地及び作付面積統計」（農林水産省）により国土交通省国土計画局作成

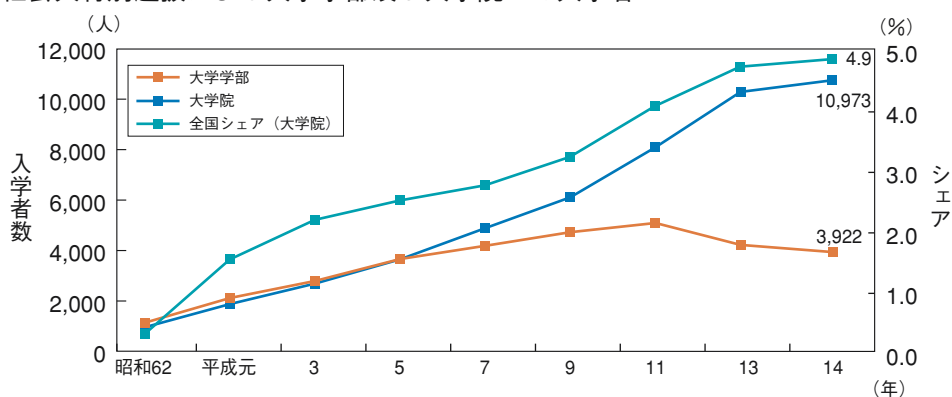
●2-6 大学・短期大学・大学院学生数の対全国シェアの推移



注：地域区分は、在籍する学部、研究科、学科等の所在地による

資料：「学校基本調査報告書」（文部科学省）、「平成14年10月1日現在推計人口」（総務省）により国土交通省国土計画局作成

●2-7 社会人特別選抜による大学学部及び大学院への入学者

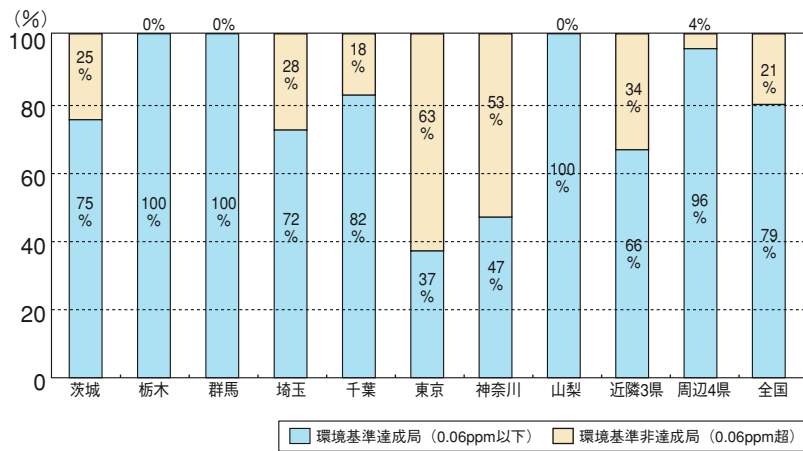


注：大学院は、修士課程、博士課程の社会人入学者数の合計値

資料：文部科学省資料により国土交通省国土計画局作成

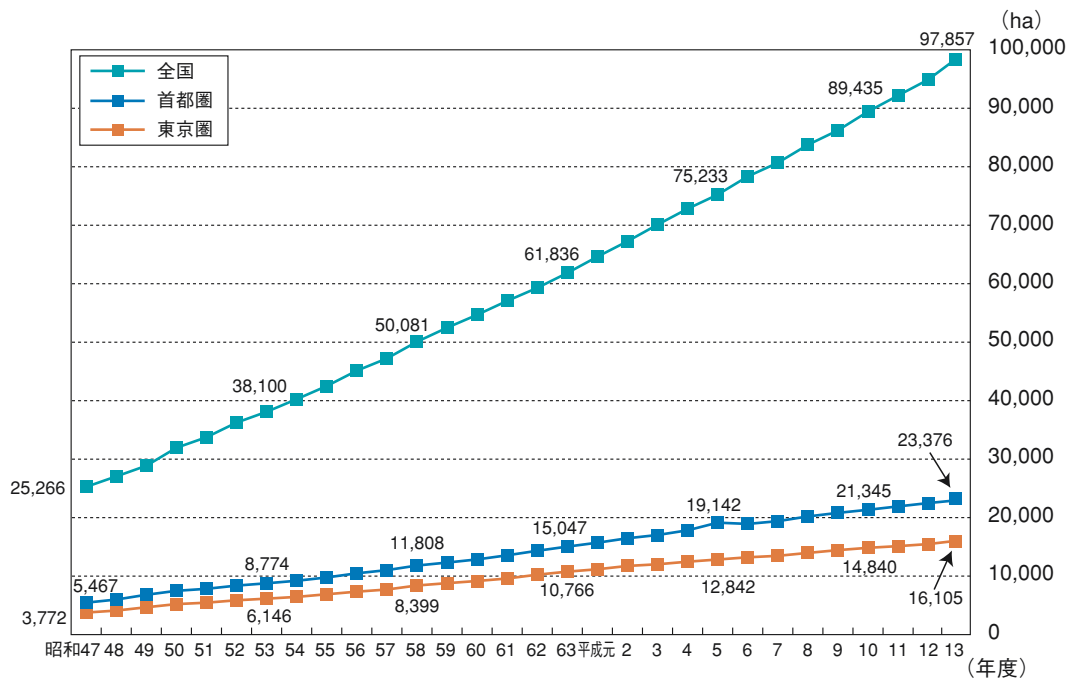
3 環境との共生

●3-1 二酸化窒素の環境基準達成状況（自動車排出ガス測定局）



資料：「平成13年度 大気汚染状況報告書」（環境省）により国土交通省国土計画局作成

●3-2 都市公園開園面積の推移



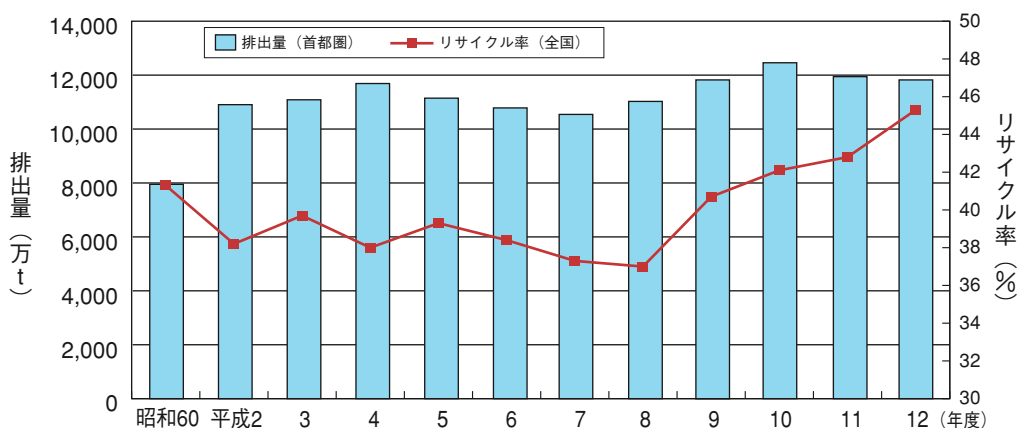
注：各年度3月31日現在の数値
資料：国土交通省

●3-3 緑地保全関連制度の指定状況

	S61年度		H5年度		H13年度	
	地区数	面積 (ha)	地区数	面積 (ha)	地区数	面積 (ha)
緑地保全地区	22	137	38	229	72	365
近郊緑地保全区域	18	15,693	18	15,693	18	15,693
近郊緑地特別保全地区	8	653	8	655	9	759
歴史的風土保存区域	5	956	5	956	5	989
歴史的風土特別保全地区	10	266	13	571	13	571

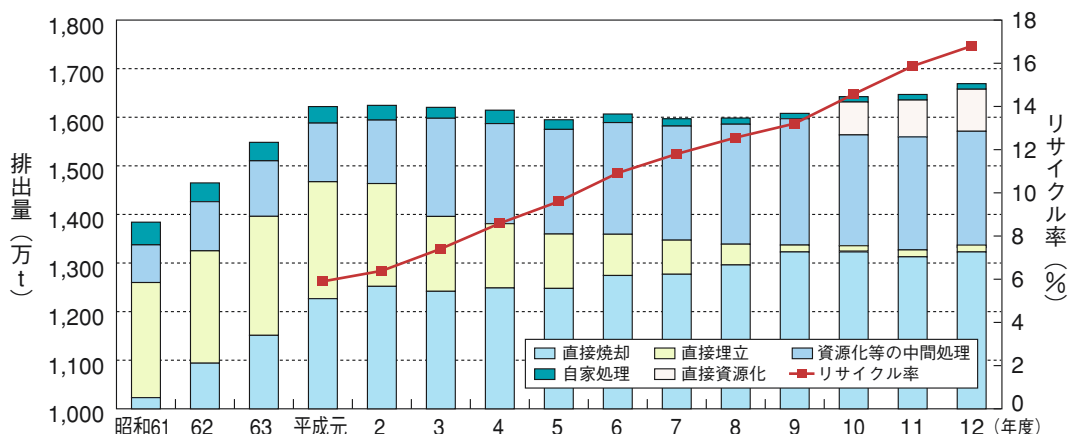
注：各種制度は、都市緑地保全法、首都圏近郊緑地保全法、古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法による。
緑地保全地区には近郊緑地特別保全地区を含まない。
資料：国土交通省都市・地域整備局資料により国土交通省国土計画局作成

●3-4 首都圏における産業廃棄物の排出量及び全国のリサイクル率の推移



資料：環境省資料により国土交通省国土計画局作成

●3-5 首都圏における一般廃棄物の処理方法別の排出量及びリサイクル率の推移



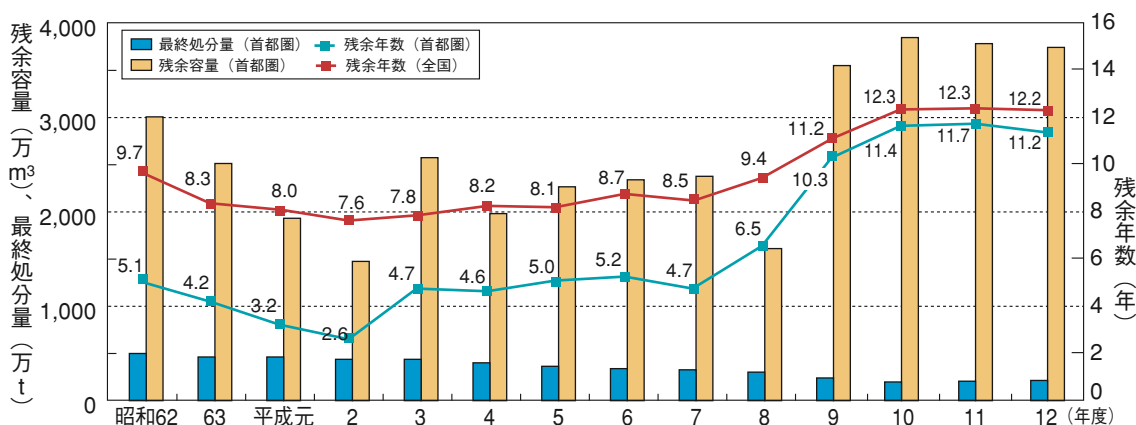
注1：「資源化等の中間処理」の処理方法は、高速堆肥化施設、粗大ごみ処理施設、資源化等を行う施設、ごみ燃料化施設及びその他における処理をいう。

注2：排出量には集団回収量は含まない。

注3：リサイクル率 = (中間処理後の再生利用量 + 直接資源化量 + 集団回収量) / (ごみ排出総量 + 集団回収量)

資料：環境省資料により国土交通省国土計画局作成

●3-6 首都圏における一般廃棄物最終処分場の残余年数の推移

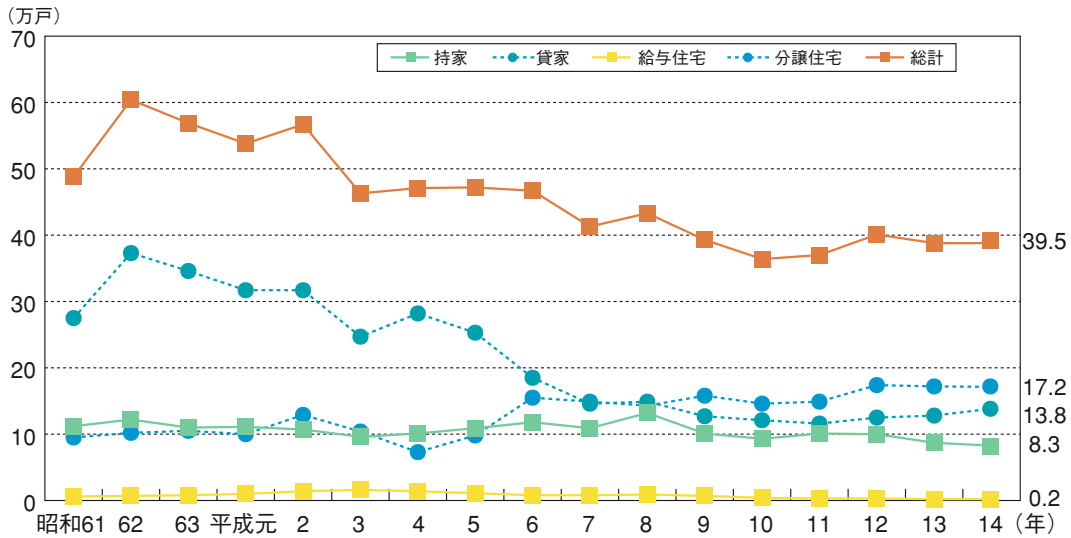


注：残余年数 = 当該年度の処分場残余容量 / (当該年度の最終処分量 / 埋立ごみ比重 (= 0.8163))

資料：環境省資料により国土交通省国土計画局作成

4 安全で快適な居住空間の整備

●4-1 東京圏の新設住宅着工戸数の推移



注1：持家とは、建築主が自分で居住する目的で建築するもの。

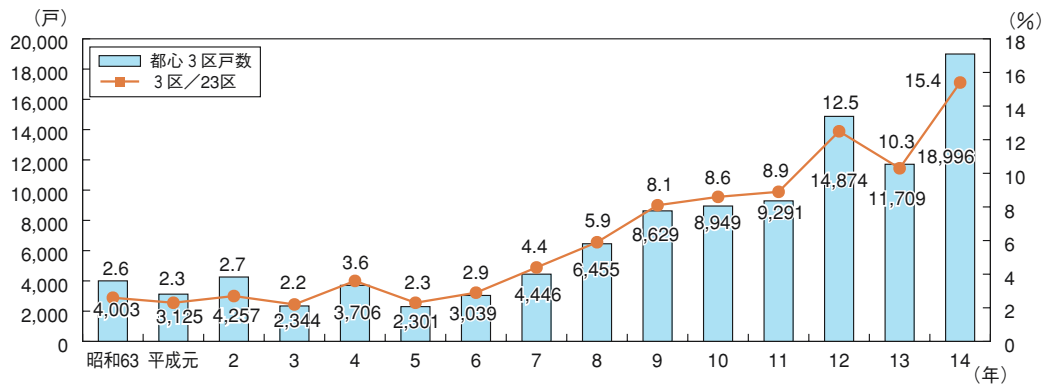
注2：貸家とは、建築主が賃貸する目的で建築するもの。

注3：給与住宅とは、会社、官公署、学校等がその社員、職員、教員等を居住させる目的で建築するもの。

注4：分譲住宅とは、建て売り又は分譲の目的で建築するもの。

資料：「住宅着工統計」(国土交通省)により国土交通省国土計画局作成

●4-2 都心3区の新設住宅着工戸数及びシェア



資料：「住宅着工統計」(国土交通省)により国土交通省国土計画局作成

●4-3 最低居住水準未達世帯の割合

全国	京 浜 葉 大 都 市 圏		
	うち持ち家	うち借家	うち3～5人世帯
5.1	7.8	2.1	15.0
			20.5

注1：最低居住水準とは、住宅建設五箇年計画においてすべての世帯が確保すべき水準として位置付けられたもの。
例えば4人世帯の場合で住戸専用面積50㎡である。

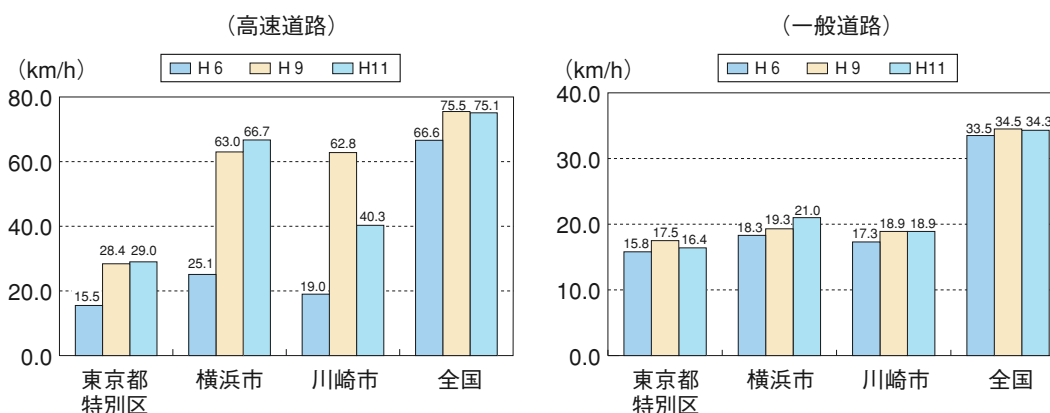
注2：京浜葉大都市圏とは、東京特別区、横浜市、川崎市、千葉市（以下「中心市」）及び周辺市町村。

周辺市町村とは、中心市への通勤通学者（15歳以上）の割合が当該市町村人口の1.5%以上でかつ中心市と接続している市町村等。

資料：「住宅・土地統計調査（H10）」(総務省)により国土交通省国土計画局作成

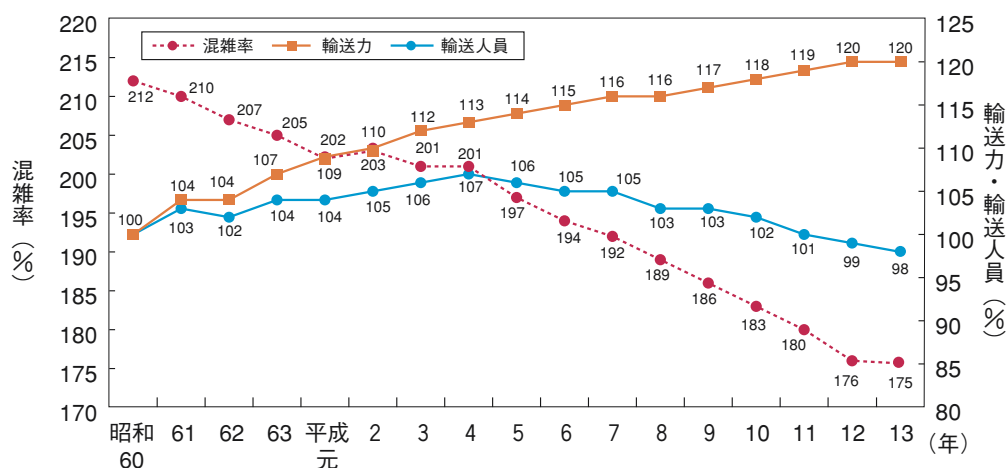
5 将来に引き継ぐ社会資本の整備

●5-1 東京圏主要都市の道路における混雑時平均旅行速度



資料：「道路交通センサス」（建設省）により国土交通省国土計画局作成

●5-2 東京圏主要鉄道路線における混雑時の平均混雑率等の推移



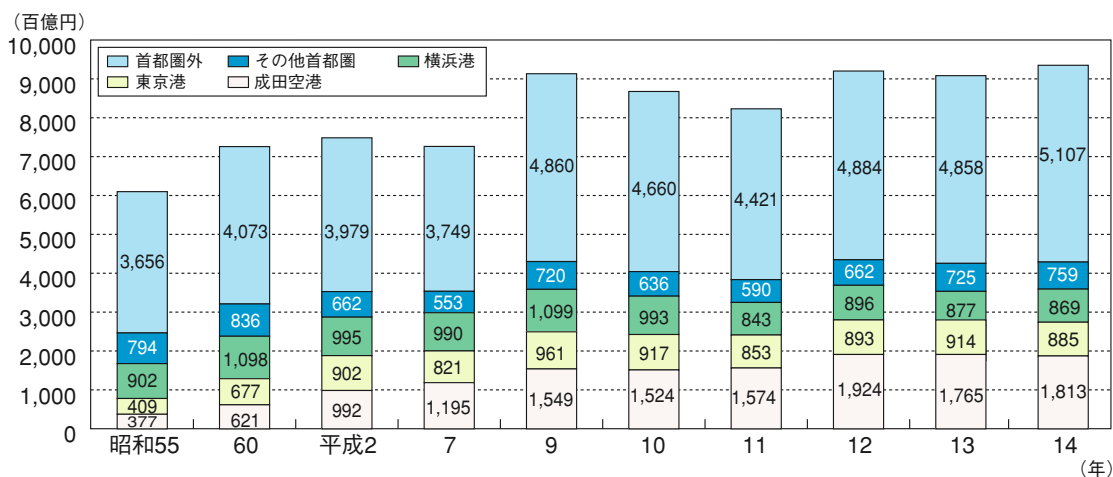
注：輸送力、輸送人員は、昭和60年度を100とした伸び

混雑率 = (輸送人員) / (輸送力) (%)

東京圏の主要なJR、地下鉄、大手民鉄路線（31路線）最混雑区間の平均値

資料：「数字でみる鉄道2002」（(財)運輸政策研究機構）により国土交通省国土計画局作成

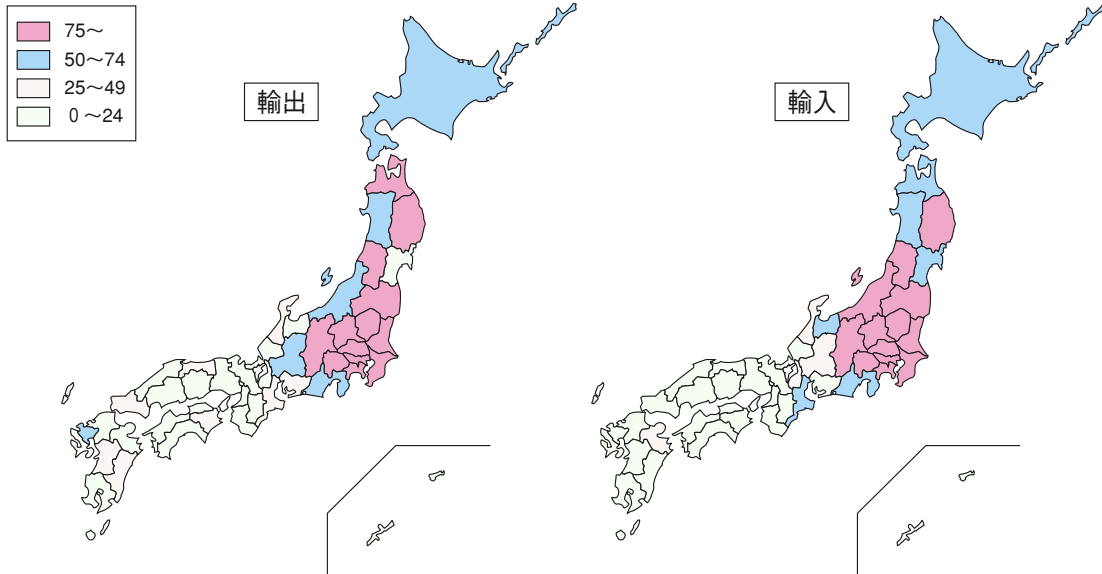
●5-3 首都圏と全国の貿易額の推移



資料：「外国貿易概況」（(財)日本関税協会）により国土交通省国土計画局作成

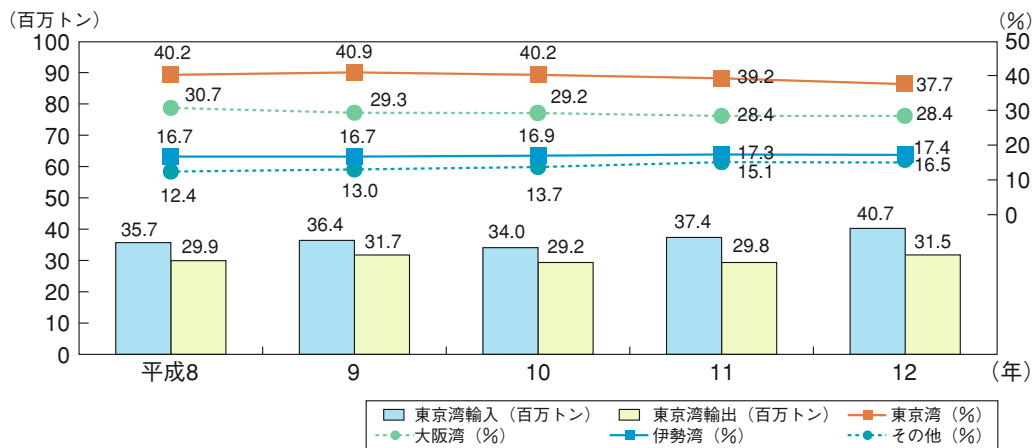
●5-4 新東京国際空港の輸出入貨物の背後圏

各都道府県の輸出入航空貨物に占める成田空港のシェア (%)



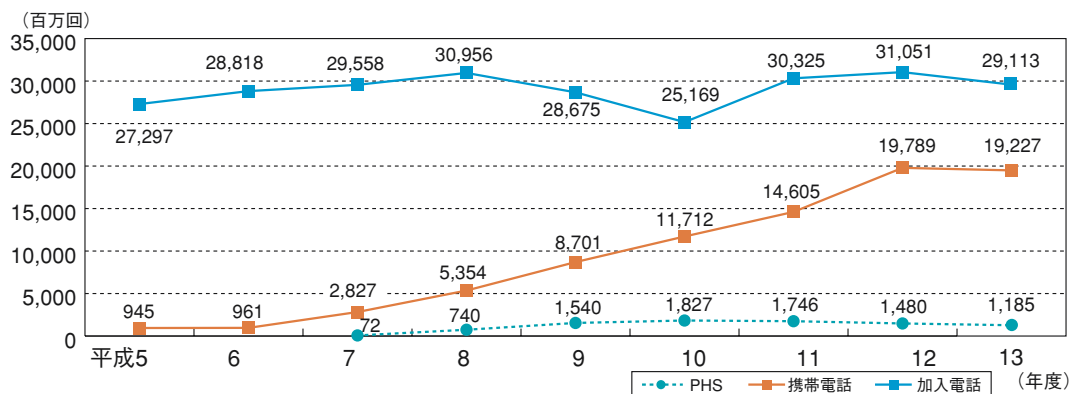
資料：「輸出入貨物に係る物流動向調査（平成14年8月）」（財務省関税局）により国土交通省国土計画局作成

●5-5 首都圏における外貿コンテナ取扱貨物量と三大湾のシェア



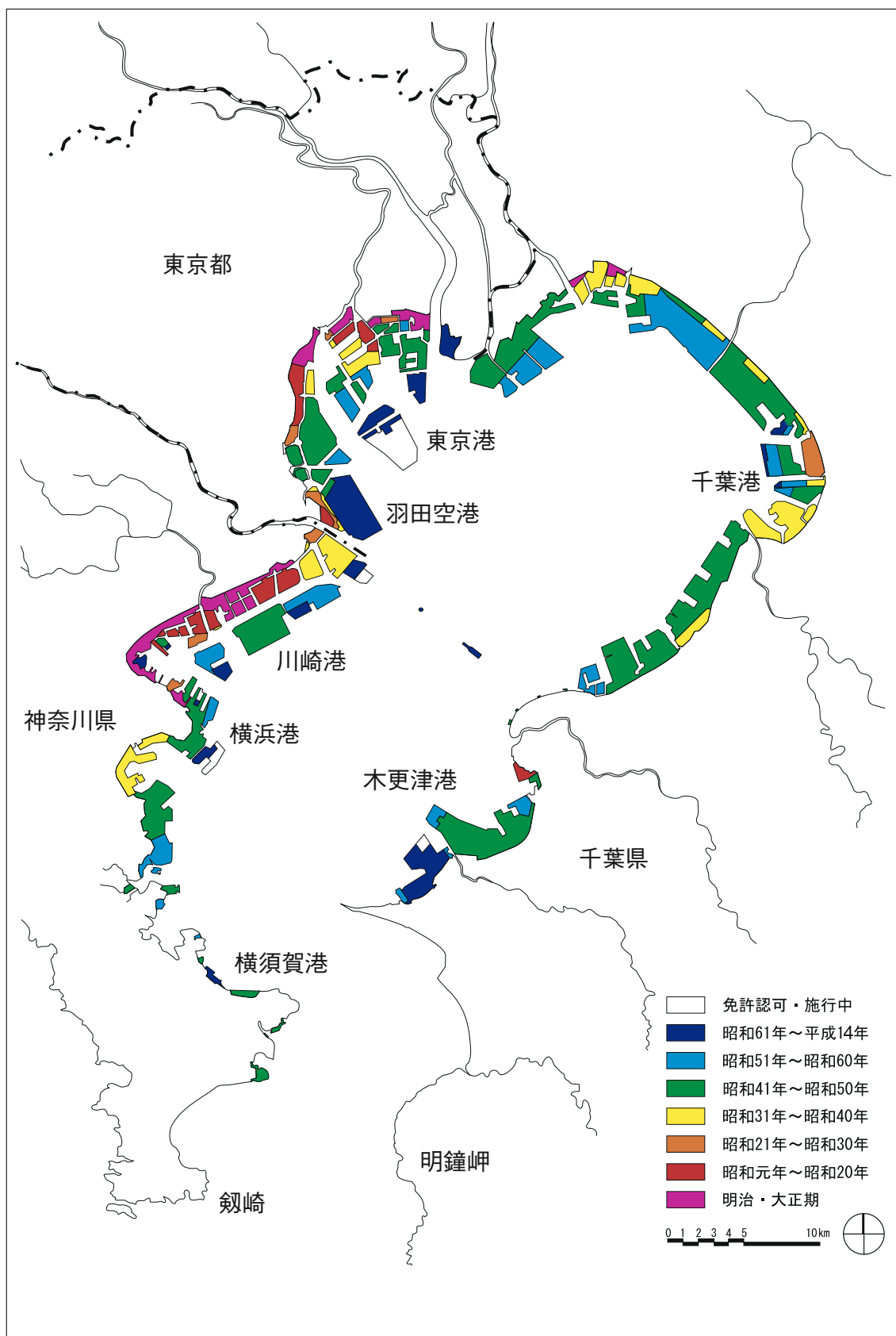
資料：「数字でみる港湾」（社）日本港湾協会）により国土交通省国土計画局作成

●5-6 首都圏における各種電話の発信量



資料：総務省資料により国土交通省国土計画局作成

●5-7 東京湾岸地域の埋立の変遷



資料：国土交通省国土計画局調べ

